

令和元年度事業報告

新潟県から受託した発掘調査を実施し、埋蔵文化財の調査研究を行うとともに、埋蔵文化財に親しむ機会の提供・普及啓発を図り、文化振興への寄与を目的に以下の事業を推進した。

1 事業及び推進体制

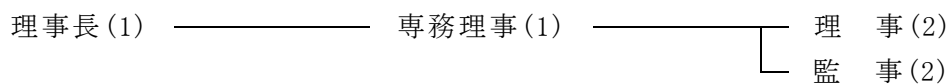
(1) 事業

- ア 埋蔵文化財の調査及び研究
- イ 埋蔵文化財保護思想の普及
- ウ 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修
- エ 出土遺物の保存処理
- オ 埋蔵文化財に関する資料の収集、保存及び刊行

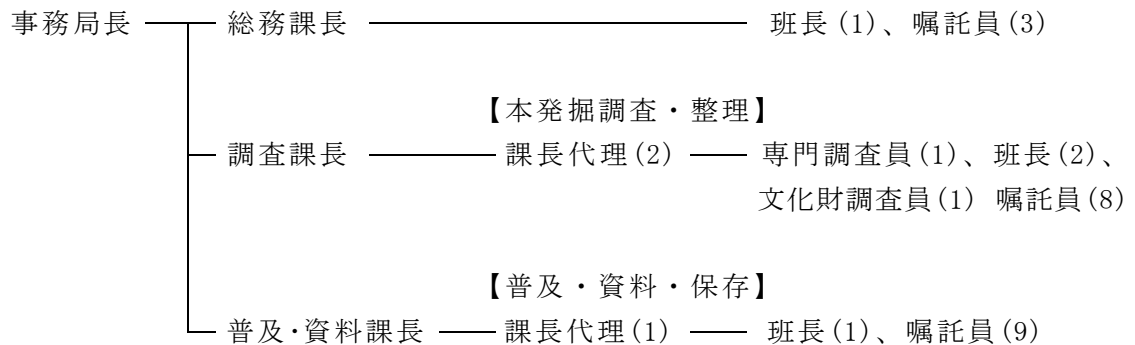
(2) 組織 (令和2年3月31日現在)

ア 評議員会(4)

イ 理事会



ウ 事務局 (職員数33 内訳：正職員1、県派遣職員12、嘱託員20)



エ 事務所

本部 新潟市秋葉区金津93番地1
新潟県埋蔵文化財センター

2 発掘調査受託事業

国土交通省建設事業に関わる発掘調査及び整理・報告作業を実施した。

(1) 本発掘調査 [資料1]

当初予定は8遺跡41,943㎡であったが、調査の実態に合わせた対象面積の変更により、最終的には8遺跡36,818㎡を発掘調査した。

(2) 整理・報告作業

- ア 整理作業を実施した遺跡 12遺跡
 (R元年度調査分：8遺跡、H30年度以前調査分：4遺跡)
- イ 調査報告書を刊行した遺跡 4遺跡：3冊(報告書刊行のみ1遺跡) [資料2]

3 保存処理 [資料3]

- (1) 木器保存処理
 - ア 大型木製品 洗浄～記録作成(修正)、トレハロース含浸 16遺跡(212点)
 表面処理 8遺跡(243点)
 - イ 小型木製品 洗浄～記録作成、トレハロース含浸 2遺跡(10点)
- (2) 金属器保存処理
 - ア 鉄製品 記録作成～修復 11遺跡(86点)
 - イ 青銅製品 記録作成～修復 17遺跡(219点)

4 資料整理・管理

発掘調査による出土品及び記録類を保管するとともに、考古学・歴史学などの学習・研究資料として活用した。

- (1) 保管
 - ア 出土品・記録資料の保管
 出土品920箱、記録資料8箱、A1図面ファイル28を収蔵庫及び資料保管室に保管(箱は54×34×10cm換算)
 - イ 図書類の保管
 2,220冊(購入90冊、寄贈2,130冊)の新着があり、蔵書数は82,238冊となった。
- (2) 資料の活用・貸出・閲覧
 - ア 出土品、写真等の貸出
 貸出件数 34組織・団体・個人(出土品7,409点、写真・記録データ68点)
 - イ 閲覧者数
 資料室外部利用者(79人)、資料閲覧者(14組織)、入館者(17,610) [資料4]
 ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和2年3月2日(月)～31日(水)休館
 入館者数は3月1日(日)までの実績数

5 普及啓発事業

調査成果の公開・活用や埋蔵文化財保護思想の普及啓発を目的に、発掘調査現地説明会や新潟県教育委員会との共催による企画展の実施、遺跡発掘地での県保有考古資料展示会、広報誌の刊行、体験学習受入れ等の事業を行った。また、財団が独自に国庫補助を受け、普及事業の充実に努めた。

- (1) 普及啓発

【企画展】

- ア 春季企画展『佐渡の王－蔵王遺跡－』
 会場：埋蔵文化財センターエントランス陳列コーナー
 期間：平成31年4月12日(金)～令和元年8月25日(日)

内 容：新潟県指定文化財である佐渡市蔵王遺跡の弥生～古墳時代の出土品を展示。
観覧者：8,315人

イ 秋季企画展『海をわたったヒスイ』

会 場：埋蔵文化財センターエントランス陳列コーナー

期 間：令和元年9月6日（金）～12月8日（日）

内 容：新潟県が誇る日本の国石「ヒスイ」をテーマとし、県内から出土した縄文～古墳時代のヒスイ製品のほか、北海道・青森県・鹿児島県のヒスイなどを特別に借用し展示。

観覧者：6,421人

ウ 冬季企画展『発見！新潟の遺跡2019』

会 場：埋蔵文化財センターエントランス陳列コーナー

期 間：令和2年1月10日（金）～3月22日（日） ※3月2日～22日休館

内 容：新潟県教育委員会が行った最新の発掘調査の成果を出土品や写真で解説。
令和元年度に発掘調査を行った縄文時代の村上市上野遺跡や古墳時代の南魚沼市六日町藤塚遺跡のほか、平安時代の阿賀野市山口遺跡などを7遺跡を展示。

観覧者：1,472人

エ 常設展示

常設展示のリニューアルを行うとともに、新たに火焰型土器展示コーナーを設置した。

【講演会】

会 場：新潟県埋蔵文化財センター（全12回）

参加者：延べ910人（H30年度：延べ661人）

第1回 『佐渡の古墳を考える－蔵王遺跡の時代－』

開催日：平成31年4月21日（日）

講 師：（公財）新潟県埋蔵文化財調査事業団 田中 祐樹

第2回 『「邪馬台国時代」の佐渡・蔵王遺跡』

開催日：令和元年5月19日（日）

講 師：佐渡市世界遺産推進課 鹿取 渉

第3回 『布掘り柱掘形をもつ堀立柱建物の特異性』

開催日：令和元年6月23日（日）

講 師：富山大学人文学部 高橋 浩二

第4回 『蔵王遺跡出土木製品が語るもの』

開催日：令和元年7月7日（日）

講 師：愛知県埋蔵文化財センター 樋上 昇

第5回 『蔵王遺跡出土鏡と新潟県における古墳時代の鏡』

開催日：令和元年8月25日（日）

講 師：三条市地域経営課 高野 晶文

第6回 『糸魚川産ヒスイの産状－プレート境界からの贈り物－』

開催日：令和元年9月8日（日）

講師：フォッサマグナミュージアム 竹之内 耕

【秋季企画展特別講演会】『縄文時代におけるヒスイ製品の製作』

開催日：令和元年9月29日（日）

講師：長者ヶ原考古館 木島 勉

第7回 『ヒスイから見た縄文時代』

開催日：令和元年10月20日（日）

講師：明治大学黒耀石研究センター 栗島 義明

第8回 『新潟県における弥生ヒスイ製勾玉の生産と周辺地域との交流』

開催日：令和元年11月10日（日）

講師：(株)吉田建設 笹澤 正史

第9回 『ヒスイ製装身具の終焉と石製模造品の出現』

開催日：令和元年12月8日（日）

講師：新潟市歴史文化課 金田 拓也

第10回 『余川中道遺跡から考える古墳時代の地域社会とネットワーク』

開催日：令和2年1月26日（日）

講師：(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団 小野本 敦

第11回 『山口遺跡から見た古代の沼垂郡』

開催日：令和2年2月23日（日）

講師：(公財)新潟県埋蔵文化財調査事業団 石川 智紀

【親子考古学教室】

会場：埋蔵文化財センター

日時：令和元年7月28日（日） 午前・午後、2回

内容：縄文土器や石器の観察と土器作り体験

参加者：19組40人（H30年度：36組93人）

【少年少女考古学教室】

会場：埋蔵文化財センター（全4回）

内容：令和元年6月23日（日） 縄文土器の観察と土器作り体験

9月8日（日） 竪穴住居の観察とクルミ割り体験

11月10日（日） 石斧体験と勾玉作り体験

令和2年1月26日（日） 古銭の拓本取りと編み物作り体験

参加者：延べ51人（H30年度：延べ46人）

【第24回 遺跡発掘調査報告会】（中止）

会場：埋蔵文化財センター

日時：令和2年3月8日（日）

内容：平成30・31年度の調査結果報告、

講演会「ここまでわかった糸魚川の歴史」「ここまでわかった柏崎市の歴史」

【発掘調査現地説明会】[資料5]

3遺跡で3回開催し、延べ365人が参加した。（H30年度：305人）

【校外学習・出前授業】

ア 学校教育の場として埋蔵文化財センターの施設・設備を提供し、火起こし、勾玉作り、石器使用などの体験、教材貸出し及び展示見学などの校外学習支援、指導者を派遣しての出前授業を実施した。

(校外学習36校2,455人、職場体験8校48人、出前授業12校522人 (H30年度：校外学習43校2,606人、職場体験6校38人、出前授業10校473人))

イ 団体来館者への展示内容解説 17団体338人 (H30年度：13団体335人)

【まいぶん祭り】

会 場：埋蔵文化財センター

日 時：令和元年10月6日(日)

内 容：勾玉作り、土器でクリを煮る体験、クイズでガチャなどを実施。

参加者：607人 (H30年度：372人)

【近隣施設等との協力事業】

ア 花と遺跡のふるさとフェスタ (第2回)

「花と遺跡のふるさと公園」エリア内の各施設、新津観光協会、秋葉区産業振興課が連携し合同主催となり、それぞれ特色のある催しを開催した。埋蔵文化財センターでは、勾玉作り、クルミ割り体験、センター体験ツアーなどを実施した。

日 時：令和元年6月2日(日) 9:30～16:00

参加者：888人 (H30年度：583人)

イ フラワースタンプラリー (第10回)

公益財団法人新潟県都市緑化センターなどが主催する「フラワースタンプラリー」に参加し、来場者には抽選で景品(勾玉作りキット・10点)を進呈した。

期 間：平成31年4月13日(土)～令和元年6月16日(日)

ウ 花と遺跡のふるさと公園パンフレット

新潟県立植物園・新潟市文化財センター・新潟市新津美術館・新津フラワーランドとともに「花と遺跡のふるさと公園」魅力アップ連携協議会を組織し、公園の魅力と施設を紹介するパンフレットを配布した。

(2) 広報誌・調査研究誌等の刊行

ア 『埋文にいがた』107～110号

刊 行：年4回(6・9・12・3月) 2,200部(各号)

配布先：小・中・高校・大学、市町村教育委員会、図書館、博物館、他関係機関

イ 『年報』

刊 行：年1回 30部・電子版をホームページで公開

配布先：発掘調査事業者、他関係機関

ウ 『発掘調査報告書』

刊 行：随時 300部

配布先：都道府県・県内市町村教育委員会、図書館、博物館、埋蔵文化財関係機関

エ ホームページ・メールマガジン、ソーシャルメディアによる情報の提供

埋蔵文化財センターの催し物や事業内容、発掘現場の様子、「埋文にいがた」などの

情報を掲示・配信した。

ホームページアクセス数：22,382件（H30年度：22,005件）

投稿数：Facebook88件（H30年度：74件）、Twitter88件（H30年度：78件）、
メルマガ 50件（H30年度：47件）

フォロワー・登録数：Facebook475件（H30年度：358件）、Twitter610件（H30年度：
389件）、メルマガ 32件（H30年度：30件）

オ 年間パンフレット

埋文センターが行う普及事業を紹介する令和元年度年間パンフレット（20,000部）
を作成し、来館者や県内外の博物館等の施設に配付して積極的な広報を展開した。

6 会議等

(1) 評議員会

ア 定時評議員会

日 時 令和元年6月19日（水）午前10時から

会 場 埋蔵文化財センター 研修室

付議事項 平成30年度事業報告及び決算報告、役員の改選

イ 臨時評議員会

日 時 令和2年3月30日（月）

付議事項 役員の選任

※定款第22条（決議の省略）により、文書による同意

(2) 理事会

ア 臨時理事会

日 時 平成31年4月1日（月）

付議事項 理事長の選定

※定款第39条（決議の省略）により、文書による同意

イ 第1回定例理事会

日 時 令和元年5月29日（水）午前10時から

会 場 埋蔵文化財センター 研修室

付議事項 平成30年度事業報告及び決算報告、役員の推薦、定時評議員会の開催、

ウ 第2回定例理事会

日 時 令和2年3月26日（木）午前10時から

会 場 新潟県自治会館 401会議室

付議事項 令和元年度事業計画の一部変更、令和元年度収支補正予算、令和2年度
事業計画及び収支予算、嘱託員就業規程の一部改正、役員の辞任に伴う
補欠選任候補者の推薦、臨時評議員会の招集、評議員選定委員会の委員
の変更

(3) その他の会議等

ア 全国埋蔵文化財法人連絡協議会（全埋協）

総 会

令和元年6月13・14日

山形県

役員会（1回）	令和元年5月9日	新潟県
中部・北陸ブロック連絡会	令和元年10月24・25日	石川県
イ 北陸五県協議会	令和元年11月7・8日	新潟県

7 埋蔵文化財調査技術の指導及び研修

日々進展している内外の各種情報を共通認識し情報の共有化を図るとともに、発掘調査業務に対して迅速に対応するため、職員研修への参加及び安全衛生研修等を実施した。また、要請に応じて市町村等への発掘調査技術指導等を行った。

(1) 市町村等発掘調査技術指導等

11団体からの依頼で、埋蔵文化財の調査研究（専門研修会講師、調査指導・助言、委員会委員等）、普及（報告、講演等）に関連した事業に延べ21回の協力を行った。

(2) インターンシップ受け入れ

ドイツ・テュービンゲン大学アジア地域文化研究所日本学科の依頼により、下記のとおり留学生2名の受け入れを実施した。

内 容：上野遺跡発掘調査現場での発掘調査体験

期 間：令和元年7月30日（火）・31日（水）

(3) 職員研修

ア 文化庁埋蔵文化財担当職員講習会	令和元年8月21日～8月23日	北海道
イ 関東甲信越静埋蔵文化財担当職員共同研修協議会	令和元年11月14・15日	茨城県
ウ 全埋協研修会	令和元年12月12・13日	千葉県
オ 埋蔵文化財専門職員実務研修①	令和元年11月22日	埋蔵文化財センター
〃	② 令和元年12月13日	埋蔵文化財センター
〃	③ 令和2年2月13・14日	新潟県庁

(4) 安全衛生研修等

ア 救急法講習	全職員を対象とした救急法の講習
期 日	令和元年11月1日（金）
内 容	救急法、基礎講習（AED取扱い等）
講 師	日本赤十字社新潟県支部 指導員
イ 防災訓練	災害時の行動、消防設備等の使用方法等についての講習・訓練
期 日	令和元年11月1日（金）
内 容	通報訓練、避難訓練、非常呼び出し訓練、消火器・消火栓放水訓練
講 師	（消防設備点検委託業者）新潟ニッタン(株)